

令和4年度 社会福祉法人 南山城学園 法人本部 事業計画

基本方針	事業計画 (Plan)			
	項目	内容[数値・実施時期等]	ネクストビジョン	実施時期
1 事業基盤の強化	(1)こどもから高齢者まで継続的な支援モデルの構築	サービス利用の接続を強化するため、児童発達支援事業所を開設するとともに、障害者施設から介護老人保健施設への移行を促進する仕組みを構築する。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)業績管理の強化	管理会計による収支状況分析を活用し、拠点ごとの経営安定に向けた行動計画を作成し、実行する。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(3)生産性の向上	ICTなど先進技術を積極的に活用し、業務の効率化や人員配置の見直しを図る。	経営資源の有効活用	年間通じて
2 地域への貢献	(1)就職氷河期世代などへの「切れ目のない就労支援」の推進	障害者・生活困窮者等に加え、コロナウイルス感染症の影響による解雇者を含め、大学など多機関と連携した就労支援に取り組む。	創造性の発揮	年間通じて
	(2)共生のまちづくりへの参画	社会状況の変化による生じる地域課題に対して、住民組織や地域企業、自治体と連携し、社会福祉法人の役割と機能を活かし有機的に貢献する。	創造性の発揮	年間通じて
	(3)社会福祉連携推進法人の設立および参画	令和4年4月から施行される社会福祉連携推進法人制度を活用し、人材確保など複数法人の業務連携を推進し、地域の福祉サービスの向上を図る。	創造性の発揮	年間通じて
3 サービスの質の向上	(1)権利擁護の強化	権利擁護を基底にした体制整備とサービス向上プロジェクトによる実地調査により、不適切なケアがあれば早期に発見し、改善を図る。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(2)リスクマネジメントの強化	本部リスク委員会を中心とした事故軽減に努める。大学と連携し大規模災害を想定したBCP(事業継続計画)を強化する、	暮らしの質の向上	年間通じて
	(3)利用者預り金管理のあり方検討	障害者施設利用者の預り金管理について、利用者保護者の高齢化に伴う今後の対応を検討し、実行する。	暮らしの質の向上	年間通じて
4 職員の質の向上	(1)人材の確保	(新卒)コロナ感染症の状況をみながら、リアル&オンラインにより、幅広い採用活動を展開 (中途)新手法の継続実施	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)人材の育成・定着	スーパーバイザー制度の運用見直しや専門職の定着強化など、更なる人事制度の見直しを随時行う。	経営資源の有効活用	年間通じて